

課題 14 アフリカって何だ！

2025年8月には、TICAD9が日本で開催されました。TICAD とは、1993 年以降、日本政府の主催で開かれているアフリカの開発をテーマとする国際会議です。

現在の日本では、アフリカの国や人々とともに成長していくという機運が高まっています。それにはいろいろな議論や思惑もありますが、少なくとも「日本はアフリカなくしては成長できない」という共通認識があると言えるでしょう。

残念ながら、高校までの学習では、アフリカについて学ぶ機会はあまり多いとは言えません。アフリカについての誤解や偏見、あるいは美化などがときおり見られるのはそのせいかもしれません。正しくアフリカを理解するためには、歴史、民族、社会、経済、国際政治から環境問題まで広く知る必要があります。

そこで大学入学までの間、アフリカについて学んでみませんか。さらに面白い世界が開けてくるはずです。

課題

(1) アフリカを地球儀で見てみよう
日本との距離、ヨーロッパとの近さ、大西洋の先は南北アメリカ、国の数（いくつの国を知っているか）、国境線の不思議、砂漠からジャングル（熱帯雨林）まで、など地理的に知ってみる。

(2) 映画でアフリカ体験

『遠い夜明け』、『インビクタス』、『ブラッド・ダイヤモンド』、『ホテル・ルワンダ』、『ナイロビの蜂』など、アフリカに関する映画は多数あります。

(3) 産物追跡

スーパーマーケットなどでアフリカ産のものを探して見ましょう。海産物、野菜、果物、嗜好品（コーヒー、紅茶、チョコレート）、などアフリカから来たものが身近にはたくさんあります。

(4) やつぱり読書
紀行文、旅行書、ノンフィクション、小説、伝記、冒険・探検書など。是非とも数冊は読んでください。

(5) なぜアフリカを知るのか
資源・エネルギー、貿易（輸出入）、マーケット、国連でのアフリカ、米食文化、世界文化・自然遺産にみる多様性、観光資源など、関心をもてる切り口はいろいろあります。意外に日本とアフリカの関係は深いのです。

知ることは楽しいこと。

女性の活躍はアフリカ大陸がもっとも盛んです。ご存知でしたか。